

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けをおこなってください。
 - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**
- 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。



- ### 警告
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
 - 交流 100V 以外では使用しないこと
発火・感電の原因になります
 - レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
 - 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- ### 注意
- 記録工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
 - メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けると
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
 - レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください

- ### 注意
- レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取り付けると
漏電した場合、発火するおそれがあります
 - アースを確実に取り付けること
故障や高電圧のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください
 - 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分換気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一般化炭素中毒を起こすおそれがあります

- ### 注意
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
感電および故障の原因になります
 - 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
 - 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります
 - 接触禁止
- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的な資格者がおこなう必要があります。
 - 大工工事【設置のための下地工事等】
 - 配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等】
 - 管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
 - 流通業者(販売店)を通して組立、設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
 - ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m²/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじりやすく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。
なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。

● ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください(目安: 1/100 ~ 1/50 程度)。雨水の滲入や結露水の逆流の原因になります。

● レンジフード取付面の補強部、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用座付ねじは 45mm の長さのものと同梱されていますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。

● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けしてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。

● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

● 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集されませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

● 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてください。

● 寒い地域ではダクトが結露し、レンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

取り付け前の調査と準備

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります

注意

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

1 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。 製品質量 25kg

2 別売部品の準備

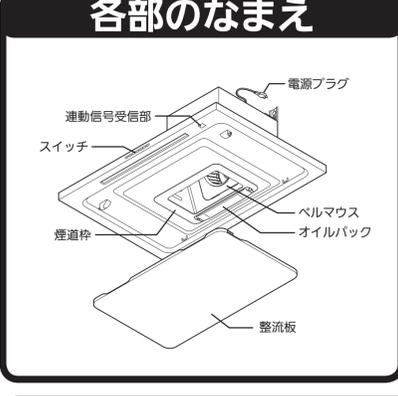
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

3 標準取付寸法

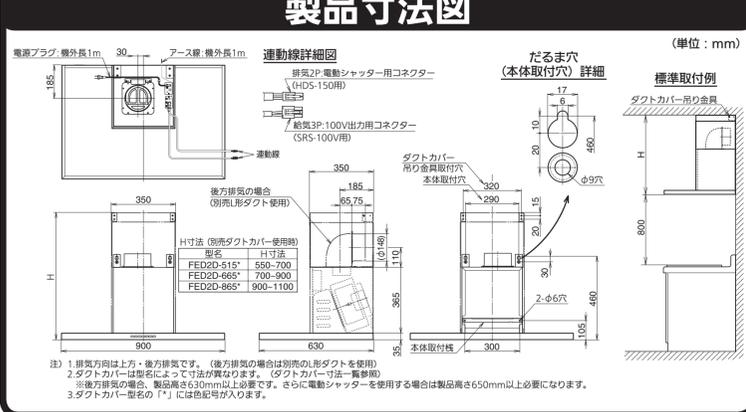
本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面からレンジフードの下端まで 80cm です。
※火災予防条例では、グリッドフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となります。

4 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V)
コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。



- ## 付属品
- 座付ねじ (φ 5.1 × 45) 6 本
本体および本体取付枠の取り付けに使用します。
 - ソフトテープ 1 本
排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使います。
 - 排気口 1 個
本体とダクトの接続に使います。逆風防止シャッター付きです。
 - 本体取付枠 1 個
本体の取り付けに使います。



1. 付属品の確認

注意

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

付属品を確認します。
梱包箱から排気口、ねじ等の付属品を取り出し、上項の付属品一覧により不足がないか確認してください。

お願い

● 保護用のクッション材と固定用テープはキズ、破損防止のため、[7. 固定テープの取りはずし]まではずさないでください。(図 1-1)

● 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。

2. 排気方向の決定

警告

- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けると
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください

注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
感電および故障の原因になります
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者(法的な資格者)へ壁穴の開きを依頼してください。

また、コンセントの位置を確認してください。(「6. 電気配線」図 6-1 参照)

2 φ 150 のステンレスダクト、またはパイプアルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。(コンクリート、タイル、土壁の場合)(図 2-1)

3 排気用部品の準備

※「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

■ 上方排気の場合(図 3-1)

- 1) 排気口付付属品のソフトテープを貼ります。
- 2) 本体に付けていきます。付属品の排気口を差込部に差し込み、取付ねじで取り付けてください。
※取付方向は右図を参照してください。
※取付ねじ近傍のねじは取りはずさないでください。

■ 後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)(図 3-2)

排気口付付属品のソフトテープを貼り、L形ダクトに取り付けます。
取付方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードを運転していないときはシャッターが閉じるよう取り付けます。
排気口は、L形ダクトに付属している取付ねじ(M4 × 8) 4 本で L形ダクトに取り付けてください。
※ 本体への取り付けは、本体の取り付け後におこないます。(「5. ダクトと排気用部品の接続」参照)

■ 後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)(図 3-2)

排気口に付属品のソフトテープを貼り、L形ダクトに取り付けます。
取付方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードを運転していないときはシャッターが閉じるよう取り付けます。
排気口は、L形ダクトに付属している取付ねじ(M4 × 8) 4 本で L形ダクトに取り付けてください。
※ 本体への取り付けは、本体の取り付け後におこないます。(「5. ダクトと排気用部品の接続」参照)

■ 後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)(図 3-2)

排気口に付属品のソフトテープを貼り、L形ダクトに取り付けます。
取付方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードを運転していないときはシャッターが閉じるよう取り付けます。
排気口は、L形ダクトに付属している取付ねじ(M4 × 8) 4 本で L形ダクトに取り付けてください。
※ 本体への取り付けは、本体の取り付け後におこないます。(「5. ダクトと排気用部品の接続」参照)

2. 本体の取り付け

注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります

お願い

● レンジフードの前および左右方向の水平を確実にだしてください。水平に設置されないこと、本体内部の汚れ(油)が各部のすきまから調理面に滴下することがあります。

● キッチンパネルの上端部をレンジフード下部壁面に入れて込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに挟み込む部材は不燃性のものを使用してください。

1 だるま穴用座付ねじをねじ込みます。(図 4-1)

製品寸法図と裏面の型紙を参照し、だるま穴位置(左右各 1ヶ所)に付属品の座付ねじ(φ 5.1 × 45) を壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。

2 本体取付枠を取り付けます。(図 4-1)

製品寸法図と裏面の型紙を参照し、本体取付枠の取付位置に付属品の座付ねじ(φ 5.1 × 45) 2 本で本体取付枠を固定します。

3 本体を引っ掛けます。(図 4-2)

本体のだるま穴用座付ねじに引っ掛けながら(1)、本体背面の溝を本体取付枠に引っ掛けます(2)。

お願い

● 上方排気の場合はダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

3. ダクトと排気用部品の接続

1 本体を固定します。(図 4-3)

- 1) だるま穴下のφ 9穴(左右各 1ヶ所)に付属品の座付ねじ(φ 5.1 × 45) をしっかりと締め付けます(1)。
- 2) だるま穴の座付ねじ(φ 5.1 × 45) をしっかりと締め付けます(2)。

2 上方排気の場合

ダクトと排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図 5-2)

3 後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)

1 排気口を取り付けます。(図 5-3)

1 排気口を取り付けます。(図 5-3)
本体排気口取付位置に取り付けている取付ねじ 2 本をはずした後、L形ダクトを本体上部の差込部に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、はずした取付ねじ 2 本で取り付けてください。
※取付ねじ近傍のねじは取りはずさないでください。

2 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図 5-3)

2 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図 5-3)
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面(製品天面等)が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。風漏れを防ぐために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。漏洩する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現場調達品)で漏風防止処置をおこなってください。

4. 固定テープの取りはずし

1 整流板をはずします。

- 1) 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の左右にあるストッパーを押してははずします(1)。(図 7-1)
- 2) 整流板を両手で支えながら下へゆくりと取りはずします(2)。(図 7-1)

2 オイルバックとベルマウスを固定しているテープをはがします。

※固定テープをはがした後は、はずした部品をもとどりに取り付けてください。

5. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- 交流 100V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- アースを確実に取り付けること
故障や高電圧のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

お願い

● ドリリングタッピングなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないように図を参照してドリリングタッピングを使用範囲以内に固定してください。(図 5-1)

1 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。

● 電源は専用のコンセント(2極差込接続器 15A、125V) およびブレーカーを付けてください。
● 「8. 試運転」およびブレーカーは「入」にしないでください。
● コンセントは電源コードの長さを考慮し、右図の斜線範囲内に設置してください(図 6-1)。

6. 試運転

注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります
- 接触禁止

■ 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。

● スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
● 最終設置した状態で試運転してください。
● 運転時、各運調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
● 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
● 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。
● 取り付けたまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
● 製品保護のため、はずした保護用のクッション材をもとの状態に取り付けてください。

7. お客様への説明

注意

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

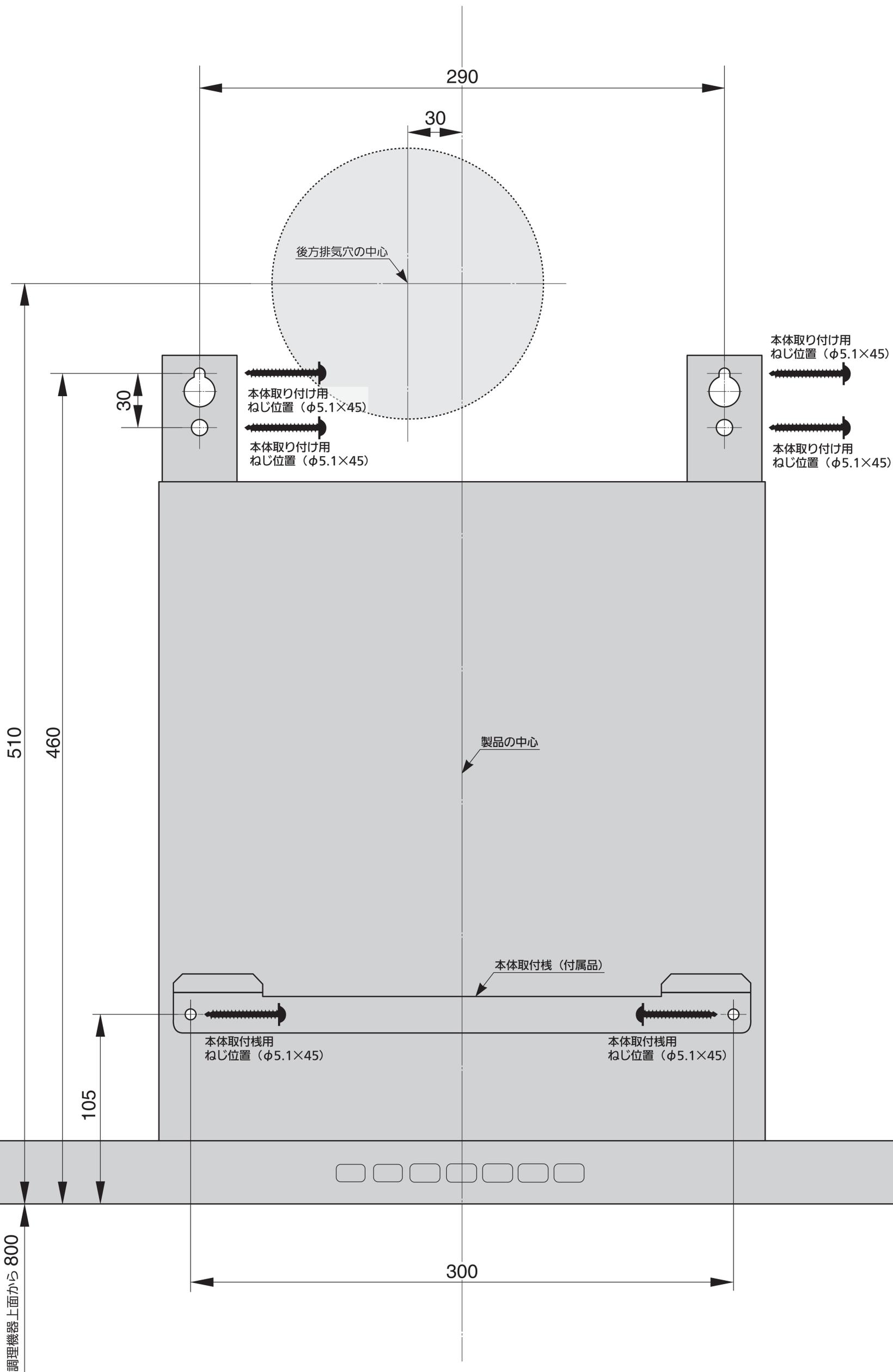
【製造元】 富士工業株式会社
本社・営業部 〒 252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号
TEL 042(768)3754 (営業部)

原寸大型紙 (寸法単位は mm)

※表面は取付説明書になっています。よくお読みになり正しく取り付けをおこなってください。

お願い

この型紙は湿気の影響で2~3mm 誤差が生ずることがあります。
寸法をお確かめの上ご使用ください。

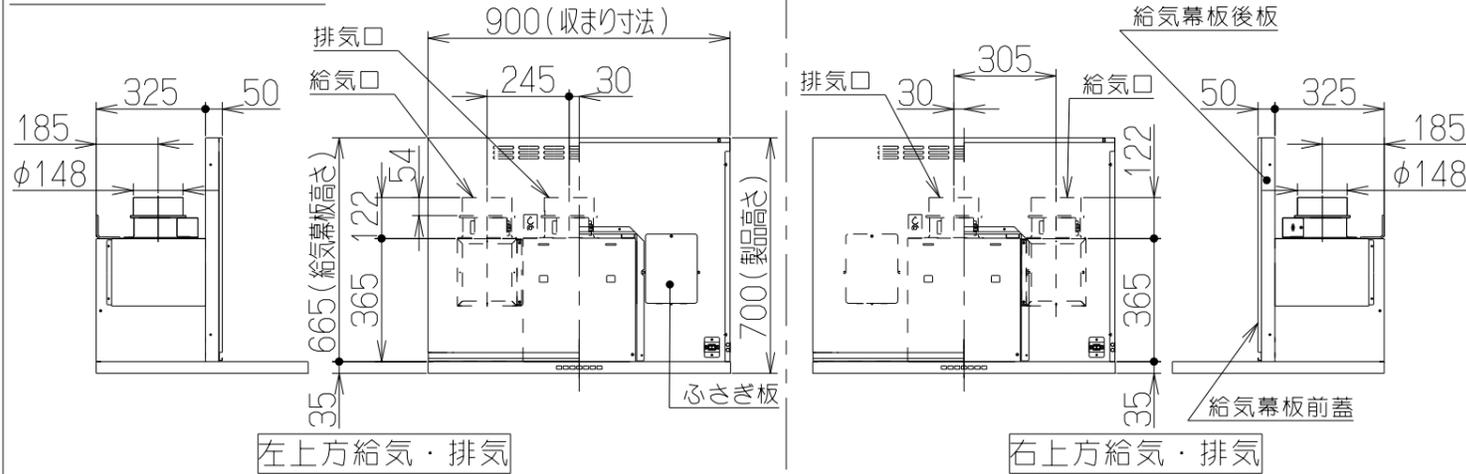


同時給排ユニット取付説明書

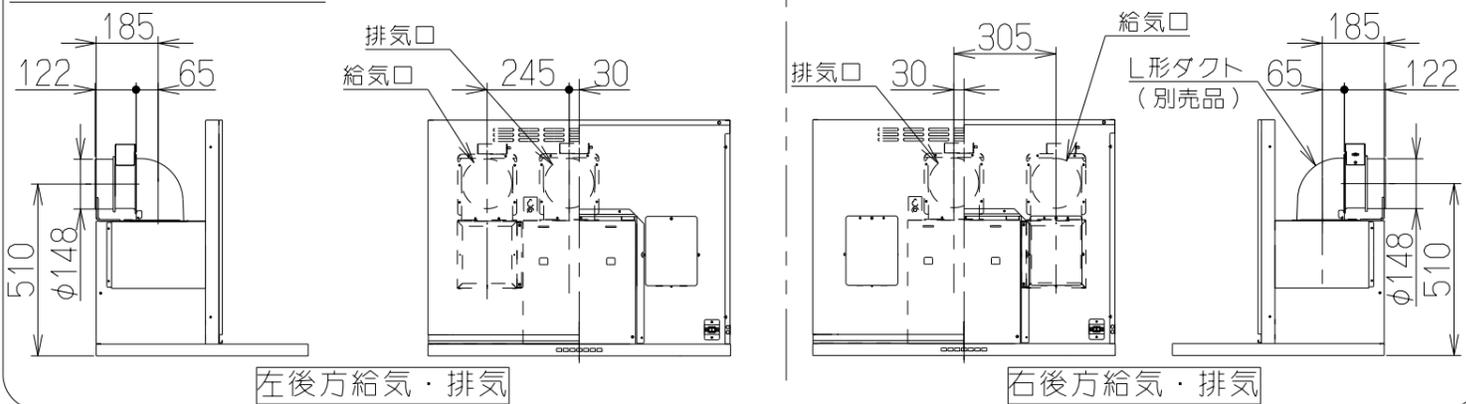
この製品は、電動シャッターを装備した同時給排ユニットです。
 取り付けの前に、この取付説明書と、レンジフードの取付説明書を合わせてお読みになり、
 正しく取り付けをおこなってください。
 「安全上のご注意」「取り付け前の調査と準備」「取り付け上のご注意」などは、
 レンジフードの取付説明書と同様の内容で取り付けをおこなってください。

製品寸法図

上方給気・排気の場合



後方給気・排気の場合



部品構成					
品名	略図	用途	品名	略図	用途
給気BOX	1個	本体とダクトの接続に使用します。	ソフトテープ	2本	給排気口とダクトの隙間をふさぐのに使用します。
給気幕板本体	1個	本体前面の目隠しに使用します。	取付ねじ (M4X8)	12本	同時給排ユニット、給気幕板本体の固定に使用します。
給気幕板前蓋	1個	本体前面の目隠しに使用します。	取付ねじ (φ4.1×16)	4本	給気幕板本体と壁面の固定に使用します。
電動シャッター信号線 給気用・排気用 (3P) (2P)	各1本	フードからの信号を給・排気口に伝えます。	電動シャッター 給気用・排気用	各1個	本体とダクトの接続に使用します。

別売品		
品名	略図	用途
YMP-FED-6636V* (同時給排用横幕板) (*部は色によって変わります)		側面に吊戸棚が付かない場合などに使用します。
LD-15 (L形ダクト)		後方給・排気では、2個使用します。

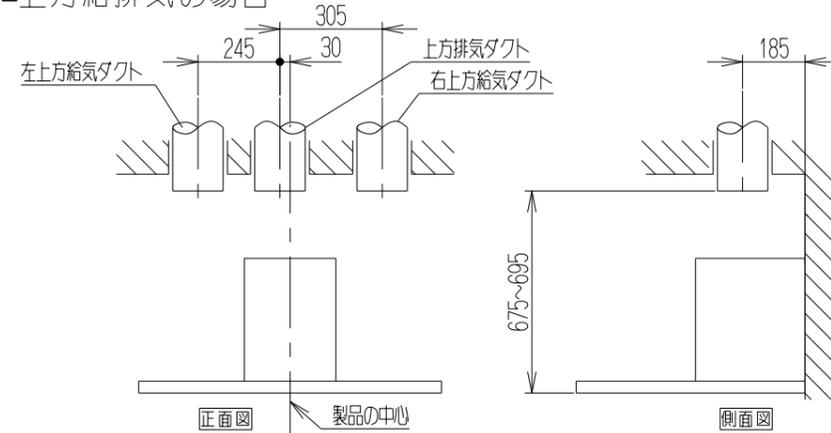
取り付けかた

1. 給気・排気ダクトの取り付け

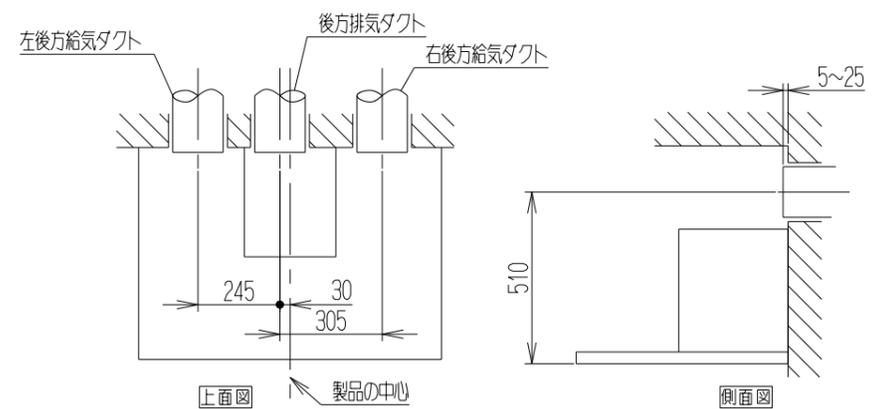
- (1) 製品寸法図を参照し、事前に管工業者(法的有資格者)へ壁穴の開きを依頼してください。(ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。)
- (2) φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトをレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。(コンクリート、タイル、土壁)

お願い 結露防止の為、排気ダクト・給気ダクトには断熱材を巻くなどの対応をしてください。

■上方給排気の場合



■後方給排気の場合(別売のL形ダクトを2個使用します。)



2. 排気用部品の準備

付属品の電動シャッター（排気用）を準備します。
 ※レンジフードに付属している排気口は使用しません。
 後方排気は別売のL形ダクトを使用します。
 電動シャッター（排気用）のモーター部が給気幕板等に干渉しないように取付方向に注意し取り付けます。

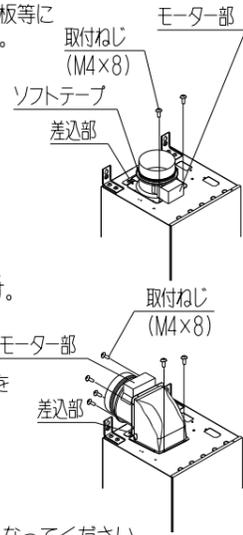
電動シャッター（排気用）の取り付け
 電動シャッターに付属品のソフトテープを貼り付けます。

■上方排気の場合
 本体に付いているねじ2本を取りはずし、電動シャッター（排気用）を差込部に差し込み、はずした取付ねじ（M4×8）2本で取り付けます。

■後方排気の場合
 別売のL形ダクトに電動シャッター（排気用）を付属の取付ねじ（M4×8）4本で取り付けます。その後L形ダクトを本体に付いている取付ねじ（M4×8）2本で取り付けます。

（お願い）

電動シャッターは、図に示す向きで取り付けをおこなってください。誤った取り付けの場合、排気不良や異常音の原因になります。

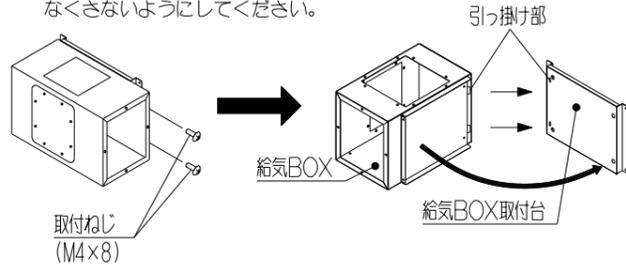


3. 給気用部品の準備

(1) 給気BOXの取り付け準備

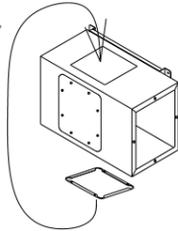
■給気BOXに取り付いている取付ねじ（M4×8）2本をはずします。その後、給気BOX取付台を給気BOXからはずします。

※はずしたねじは後で使用しますのでなくさないようにしてください。



(2) ふさぎ板の付け替え（右側給気の場合のみ）

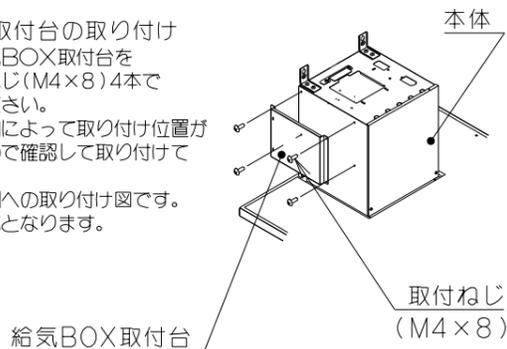
製品出荷時は、左側給気用になっています。右側給気で使用する場合は、図示のふさぎ板に取り付いている取付ねじ（M4×8）4本をはずします。その後、給気BOXの反対側にふさぎ板を取りはずしたねじ（M4×8）4本で固定します。



(3) 給気BOX取付台の取り付け
 本体側面に給気BOX取付台を付属品の取付ねじ（M4×8）4本で取り付けてください。

※給・排気方向によって取り付け位置が異なりますので確認して取り付けてください。

※本図は、左側への取り付け図です。右側は、対称となります。

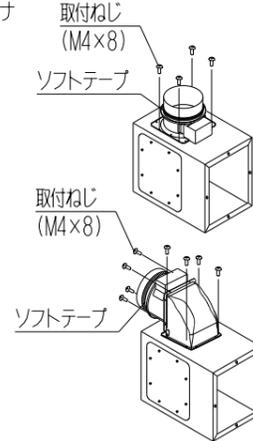


取り付けかた

(4) 電動シャッター（給気用）の取り付け
 電動シャッターに付属品のソフトテープを貼り付けます。

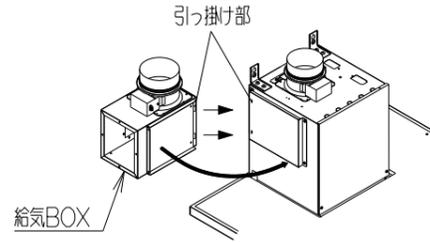
■上方給気の場合
 電動シャッター（給気用）を給気BOX上面に付属の取付ねじ（M4×8）4本で取り付けます。

■後方給気の場合
 電動シャッター（給気用）に別売のL形ダクトを取り付けます。L形ダクトに付属の取付ねじ（M4×8）4本で取り付け、給気BOX上面に付属の取付ねじ（M4×8）4本で取り付けます。

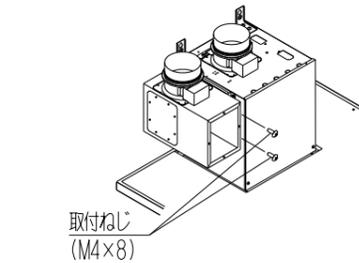


4. 給気BOXの取り付け

(1) 給気BOXを給気BOX取付台に引っ掛けて矢印の方向にはめこみます。

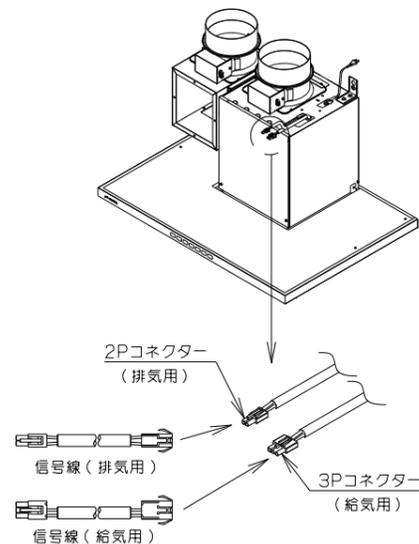


(2) 給気BOXから取りはずした取付ねじ（M4×8）2本にて本体前面から給気BOXに固定します。

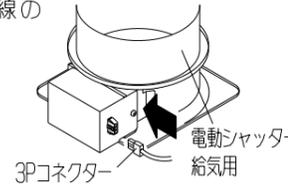


5. 給気・排気用電動シャッターへの信号線接続

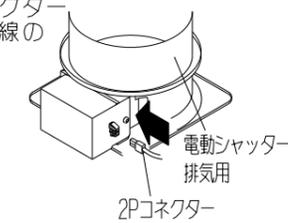
(1) 本体上部のコネクタに信号線（給気用・排気用）を接続します。



(2) 電動シャッター（給気用）のコネクタ接続部（3Pコネクタ）に信号線の3Pコネクタを接続します。



(3) 電動シャッター（排気用）のコネクタ接続部（2Pコネクタ）に信号線の2Pコネクタを接続します。



（お願い）

コネクタの接続は確実におこなってください。接続が不十分だとレンジフードが動作しません。

6. レンジフード本体の取り付け

製品に同梱されている取付説明書をお読みください。

（お願い）

上方給・排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

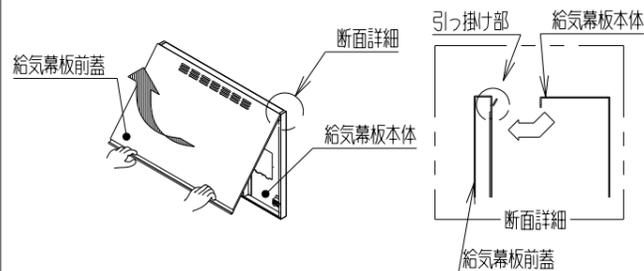
7. 別売横幕板の取り付け

別売の横幕板を使用する場合、横幕板の取付説明書に従って取り付けてください。

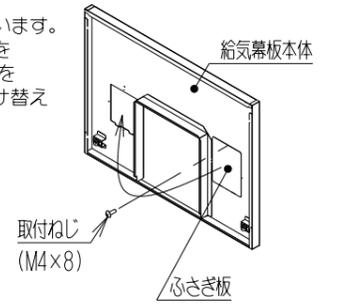
横幕板を使用しない場合は、「8. 給気幕板の取り付け」へ進んでください。

8. 給気幕板の取り付け

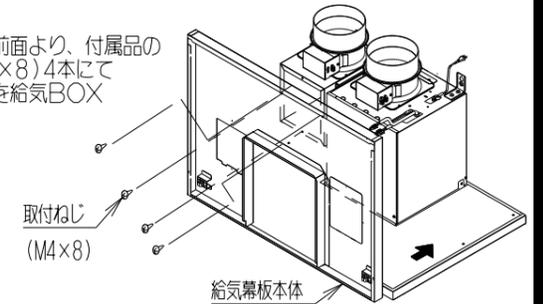
(1) 給気幕板前蓋下部を手前にゆっくりと取りはずし、給気幕板前蓋上部の引っ掛け部をはずして手前にゆっくりと取りはずします。



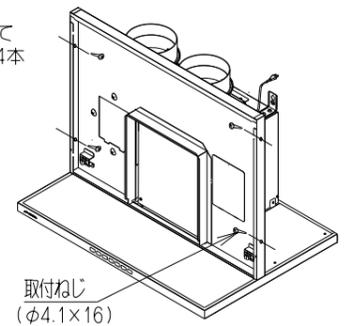
(2) 製品出荷時は左側給気になっています。右側給気にする場合はふさぎ板を止めている取付ねじ（M4×8）をはずして、ふさぎ板を左側に付け替えます。



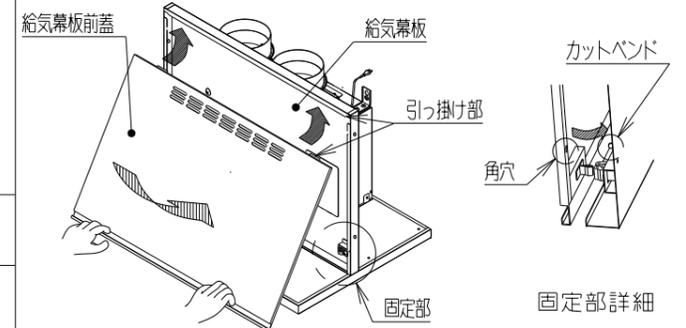
(3) 給気幕板本体前面より、付属品の取付ねじ（M4×8）4本にて給気幕板本体を給気BOXに固定します。



(4) 横幕板を使用しない場合は、給気幕板本体内側より外面に向けて付属品の取付ねじ（φ4.1×16）4本にて固定してください。



(5) 給気幕板前蓋上部の引っ掛け部を確実に差し込み、給気幕板本体のカットバンドを給気幕板前蓋の角穴に入れ、下部をゆっくりと押しつけて取り付けます。



9. 試運転

製品に同梱されている取扱説明書をお読みください。

■各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチ操作、運転状態等についてはレンジフードの取扱説明書をご覧ください。

■同時給排BOXを取り付けた場合、常時換気運転では給気電動シャッターは連動しない（開かない）状態になります。